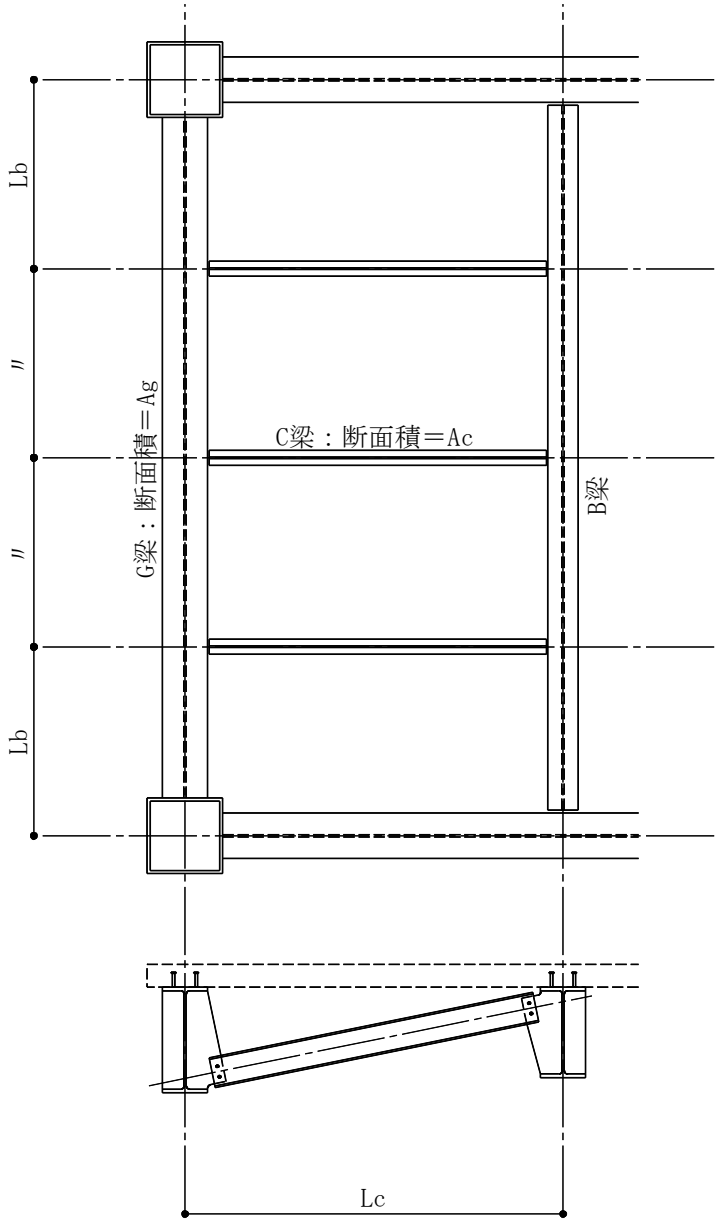

G梁の横補剛材C梁の剛性検討において、

①2007年版技術基準解説書のP595で書かれている、横補剛材に必要な剛性は、
　圧縮合力の5倍の力を横補剛区間長さで除して求めた剛性より、
　必要K＝(Ag×1／2×F×5)／Lb　で求められる。
②横補剛材C梁の圧縮剛性は、
　　K＝E×Ac／Lc　で求められる。
③必要K≦K　を目安にする。

ここで、
G梁・B梁は共に上端はスラブで拘束されているものとする。
FはG梁の材料強度、EはC梁の鋼材のヤング係数を示す。
厳密に言えば、C梁は斜めに掛かっているので圧縮力・長さ共に角度の考慮が必要だが、
ここでは便宜上考慮しない。